

令和3年2月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和3年2月24日(水)

時 間 午前10時～午前10時40分

発 表 内 容

- 1 令和2年度佐渡市一般会計補正予算（第17号）について
……<財政課>
- 2 令和3年度佐渡市一般会計当初予算について
……<財政課>
- 3 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況について
……<市民生活課>
- 4 令和2年の観光客入込状況について
……<観光振興課>
- 5 防災拠点庁舎の整備計画(案)についての意見募集について
……<企画課>
- 6 東京2020オリンピック聖火リレー、リレー沿道及び
ミニセレブレーション観覧を募集します
……<企画課>
- 7 3月1日より“佐渡市ホームページ”をリニューアルします
……<総務課>

【事前質問】

* 事前質問はありませんでした。

市長記者会見発表内容 要旨 (R3. 2. 24)

1 令和2年度佐渡市一般会計補正予算(第17号)について

【配布資料あり】

<概要>

- 一般会計補正予算規模：5億3千600万7千円を減額。
- 予算総額：535億8千710万7千円。

【主な補正内容】

- ① 新型コロナウイルス感染症対策(令和3年度への繰越を予定)
 - (1) 島内経済の回復に向けた対応
 - ・住宅リフォーム支援事業に8千177万8千円
 - ・地域観光通貨を利用した宿泊ポイントバックキャンペーン実施に5千945万4千円
 - (2) 学校における感染症対策等の学校教育活動の継続
 - ・小学校の学校教育活動継続支援事業に1千8百万円
 - ・中学校の学校教育活動継続支援事業に1千40万円
- ② 降雪の影響に伴う道路除雪事業に3億8千967万円
- ③ 国の補正予算に伴う事業
 - ・戸籍住民基本台帳費や県営農業農村整備事業に2億8千324万6千円

* 今回の補正予算はコロナ禍における事業の縮小等に伴い減額補正。

* 補正の考え方としては新型コロナ対策や国土強靱化など国の「15か月予算」の考え方と連動。

* 「住宅リフォーム支援事業」等経済対策に加え1月臨時会に提案した「コロナに負けるな!!子育て・暮らし応援事業」等、令和2年度の補正予算と令和3年度の当初予算を一体的に編成し、新年度に積極的に取り組めるよう所要額を計上。

2 令和3年度佐渡市一般会計当初予算について

【配布資料あり】

<概要>

- ◎新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、財源確保の徹底や歳出の見直しを行った一方で、老朽化に伴う公共施設等の維持・更新や地域医療の確保などの喫緊の課題に対応。重点施策に掲げる事業を集中的に取り組める予算編成。
- ◎「子育て支援の強化」、「起業支援と雇用の拡大」、「元気な高齢者が活躍できる環境づくり」を重点的に取り組む。

予算規模：455億4千万円

(前年度当初予算と比較し10億4千万円、2.3%の増)

【歳入の特徴】

- 新型コロナウイルス感染症の影響
 - ・市税、地方消費税交付金等が減額。
 - ・地方特例交付金、国庫支出金を増額計上。
- 普通建設事業の財源対策
 - ・合併特例債など有利な市債の活用を図る。
 - ・財政調整基金の取り崩しによる財源不足の調整。

【歳出の特徴】

- 職員配置の見直し等を実施
 - ・人件費、1億37百万円の減額。
 - ・行政改革に関しては総合計画の策定と合わせ、施設や組織・業務のあり方など、抜本的な見直しに取り組む。
- 物件費、企業会計への繰出金等が増額。
- 庁舎整備など合併特例債事業の着手、ワクチン接種体制確保などの新型コロナ対策が主な増加要因。

【重点施策の主な取組】

令和3年度は「子どもからお年寄りまで安心して笑顔で暮らし続けることができる島、持続可能な賑やかで元気な島づくり」の実現に向け、事業の重点化を図り、取り組む。

① 定住促進・企業誘致の推進

- ・一定期間島の暮らしを体験できるお試し住宅の増設、空き家の改修など、島での生活を気軽に体験できる仕組みや、低コストで佐渡に住むことができるよう、企業誘致や子育て施策と連携した受け入れ態勢整備を進める。
(U・Iターンサポート事業、お試し住宅体験事業、インキュベーションセンター整備事業などに所要額を計上)

② 子育て支援

- ・出生祝金に当たる「子どもが元気な^{たからじま}佐渡が島事業」、第3子以降となるお子様の成長の節目に合わせて、お祝い金を支給する「第3子以降子育て応援事業」を創設。
- ・子どもを安心して生み、育てることが出来るよう環境整備を進める。

③ 日本一の健康寿命

- ・自然、温泉などを活用した健康づくりへの支援など、地域で元気で活躍できる高齢者への支援を図るため、温泉利用促進事業や一般介護予防事業などに所要額を計上。

④ 地域防災力の向上

- ・災害時における情報収集や災害対策本部を瞬時に立ち上げ指揮命令を行うため、既存庁舎を活用しながら災害時に拠点となりうる庁舎整備を進める。
- ・小中学生を対象とした防災教育、地域における助けあいを推進するため、自主防災組織の活動を支援。
- ・市道等集落の生活環境保全に取り組むため、防災対策事業や安全・安心まちづくり事業の拡充などに所要額を計上。

⑤ 地域づくりの拠点化

- ・地域おこし協力隊や市職員OB等に加え、外部企業や大学連携などの専門知識を取り入れながら、地域に出向き地域の声を聞く体制を整備。
- ・誰もが気軽に意見交換できる地域づくりの拠点として支所、行政サービスセンターの機能拡充・拠点化を図り地域の賑やかさを取り戻す。

- ・支所、行政サービスセンター拠点化事業や地域の活力再生事業などに所要額を計上。

※詳しくは一般会計当初予算の概要をご確認ください。

3 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況について

<概要>

○佐渡市の医療従事者優先接種は

- ・3月下旬に開始予定。(県が調整主体となり準備中)

○佐渡市民への接種は

- ・4月以降に高齢者の優先接種を開始予定で準備中。

○接種会場は2つのパターンを計画

- ①集団接種：市内の大規模な集会所や体育館等で大勢の方を対象に接種。
- ②個別接種：病院、診療所等かかりつけ医で接種。

※現在、医師会と具体的な実施方法をシミュレーションしながら体制確保にむけ調整中です。

○ワクチン接種に必要な資機材等

- ・超低温冷凍庫（ディープフリーザー）は佐渡島内に国から4台配備。
3月中に全て配送される予定。
- ・その他必要な物品等、3月中に準備し4月以降スムーズに開始できるよう準備を進めています。

4 令和2年の観光客入込状況について

<概要>

令和2年中の観光客数（推計値）をお知らせします。

○観光入込数 ⇒ 前年比51.3%と半減。

- ・令和2年：25万4千人
- ・令和元年：49万5千人

○島内観光旅館組合の宿泊者数 ⇒ 前年比53.1%程度と半減。

- ・令和2年：15万4千人泊
- ・令和元年：29万人泊

（※佐渡観光旅館連盟加盟施設18軒の宿泊者数）

○令和2年の状況

- ・3月から新型コロナウイルス感染拡大による影響が出始め、ゴールデンウィーク前の4月7日から7都道府県の緊急事態宣言。
- ・4月16日から全国の緊急事態宣言が拡大し5月25日まで継続。
- ・非常事態宣言解除後は、緩やかに回復傾向、GoToトラベル東京適用の10月と11月は前年実績を超える状況まで回復。
- ・11月末からの第3波感染拡大により12月は再び大幅な減少に転じた。

○国内旅行の回復

- ・ワクチンがある程度行きわたった後と想定しています。
- ・これまでの経験を活かし感染拡大を最小限に抑えつつV字回復を目指し、観光事業者と一丸となって取り組むとともに、観光等の交流事業に関してウィズコロナとアフターコロナを戦略的に推進していく必要があると考えます。

5 防災拠点庁舎の整備計画(案)についての意見募集について

<概要>

2月19日に防災拠点庁舎の整備計画(案)についての意見募集(パブリックコメント)が終了しました。(意見の件数は30件)

○主なご意見

- ・新庁舎を建設し手狭な市役所の改善とバリアフリー対策を進めてほしい。
- ・業務のデジタル化など将来を見据えた計画としてほしい。
- ・地場産木材を使用し地域産業の育成につなげてほしい。
- ・雨水利用のコストや衛生面についてしっかり検討してほしい。
- ・高齢者や女性、子供も利用しやすい優しい機能にしてほしい。
- ・太陽光発電設備を利用した非常用発電計画は採算が合わないのではないか。
- ・議会、水道課の集約は反対
- ・建設計画よりソフト面の強化を進めるべき

○ご意見については、現在進めている基本設計、実施設計で継続し検討していきます。

○ご意見への回答は、市ホームページや各支所・サービスセンター、図書館などで閲覧可能に。（3月上旬予定）

○今後のスケジュール

- ・基本設計完了後、来月に実施設計業務の委託契約を行い、令和3年中の工事着工を目指します。

6 東京 2020 オリンピック聖火リレー、リレー沿道及びミニセレブレーション観覧を募集します

【配布資料あり】

<概要>

6月4日（金曜日）東京 2020 オリンピック聖火リレーを実施。

○新型コロナウイルス感染症対策として、観覧客・聖火ランナー・運営スタッフをはじめとする聖火リレー関係者、地域住民双方の安全・安心を確保し、体調不良者発生時に的確な対応が取れるよう、リレー沿道及びミニセレブレーションの観覧を原則として事前申込制とします。

○聖火リレーの主な観覧場所

- ・スタート地点の佐渡金山、途中の道遊トンネル付近、佐渡奉行所、ゴール地点の北沢浮遊選鉱場跡。

○観覧募集について

(対象者)

- ・ 佐渡市在住の方。(18歳未満は保護者の同意が必要)

(募集期間)

- ・ 令和3年3月10日(水曜日)～4月9日(金曜日)

(応募方法)

- ・ 所定の応募用紙に必要事項を記入し、郵送、FAX、本庁・各支所・各行政サービスセンター窓口へ提出又は応募フォームから必要事項を入力し応募ください。

(選定方法)

- ・ 観覧場所の定員人数を超えた場合、抽選により決定。

(当選結果)

- ・ 令和3年4月30日(金曜日)までに、当選者に当選通知を送付します。

※公募に関する詳細は3月10日各戸配布予定の「東京2020オリンピック聖火リレー・リレー沿道及びミニセレブレーション観覧公募要領」をご確認ください。

7 3月1日より“佐渡市ホームページ”をリニューアルします

【配布資料あり】

<概要>

リニューアルの主なポイント

○デザインの一新

- ・ より見やすく、親しみやすいデザインに。
- ・ 離島の特徴「島を取り巻く海」をイメージする「青」を基調に、佐渡市のブランドイメージを高めるためトップページは海の風景をメイングラフィックに採用。

○機能面

- ・ 世界文化遺産登録の国内推薦を見据えたインバウンド需要に対応
- ・ 英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語などの外国語ページにボタン一つで切り替わる多言語化の仕組みを導入。

- ・ 必要とする情報にたどりつくための機能として、キーワード検索のほか、目的別検索、組織別検索、アクセス数が多いページをランキング形式で紹介するなど、情報検索機能を充実。
- ・ 情報機器の画面サイズに応じて自動で最適化された画面を表示するレスポンスウェブデザインを採用。
スマートフォンやタブレットでも見やすい画面が自動で表示。
- ・ ファイルを閲覧できる電子書籍機能。
(市報等冊子や各種計画書のデジタル化)